



Team石川



小中一貫CSだより第41号 令和元年8月19日発行 石川小・中学校 文責(松)

15歳の姿：将来への憧れ・夢・希望・目標をもち、意欲的に学習に取り組み自分の考えや思いを豊かに表現できる子ども

「あじさいまつり」に合わせて大仏公園で写生大会



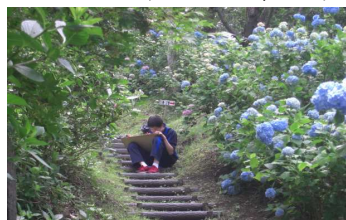
7月5日(金)、中学校で、今年度で3回目となる大仏公園写生大会が「ひろさき卍学」の一環として行われました。7月1日(月)の「あじさいまつり」の開催日に行く予定でしたが、当日は生憎の雨で延期となりました。蒸し暑い日でしたが、子ども達は思い思いに風景・題材を選び、写生に取り組みました。また、陸奥新報、RABも取材に訪れていました。事後の指導として、美術の時間に「石川のシンボルである大仏公園の風景の中からどのような美しさやよさを感じ取りましたか?」という投げかけで生徒全員が振り返りをしました。



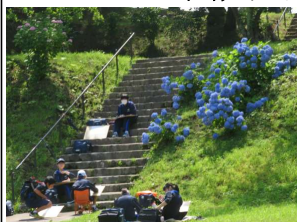
3年石田萌笑さんの振り返りを紹介します。「まず、あじさいが咲き誇っていてとてもきれいでした。山頂まで行くと風景がきれいで石川全体を見下ろすことができました。大仏公園は自然の美しさだけでなく、城の美しさも兼ね備えていました。大仏公園は“石川大仏ヶ鼻城”という城があったということで、そういう観点から見ると、山頂へのルートの急な斜面や細い道などは山城としての堅い守りの一つであったことが考えられます。それに小高くなっているの、城下町を見下ろすこともでき、城を築く



上で好条件だと思いました。絵を描いていると散歩している方やあじさいを見ている方が多くいらっしゃったので、地域の人の憩いの場になっているんだな、と感じました。」



「兵の魂鎮める万葉の紫陽花」(松)・・・川柳コンテストで入選し、石川町会よりメロンをいただきました。ありがとうございました。



アジサイが見頃を迎えた大仏公園で水彩画を描く生徒たち

弘前市石川の大仏公園で5日、石川中学校(松山正男校長)の写生大会が開かれ、全校生徒約90人が見頃を迎えているアジサイなどを思い思いに描いた。写生大会は毎年この時期に開かれており、今回で3回目。

「あじさいまつり」が31日まで開かれていて園内では、青や紫など涼しげな色合いのアジサイがあちこちに咲いており、生徒たちは熱心に観察しながら水彩画を描いた。1年の樋口大空さん(13)は「写生大会に初めて参加したが、思い通りに描くことができた。光の当たり方で変わる葉の色に気が付けた」と語った。生徒たちは今後、美術の授業などで絵を仕上げ、9月に開かれる学校の文化祭で展示する予定。(長内忠光)

アジサイ思い思いに

弘前市石川 大仏公園で写生大会



17年連続出陣の大沢ねぶたに3年連続参加



保存会の方々の頑張りで今年は1番先に出陣できました。

8月5日(月)、駅前運行の日に、小・中学校児童生徒約70名が合同運行に参加しました。今年は、中学校剣道部の東北大会と重なり、参加人数がやや減少しましたが、沿道に詰めかけた約32万人の観光客の中で「ヤーヤードー」の威勢のよいかけ声を駅前通りに響かせました。このような地域の行事に参加することは大



前ねぶたのパフォーマンスを汗びっしょりになりながら頑張りました。



主に中・高生が太鼓を担当

切な地域貢献となります。来年度以降も地域づくりに貢献する石川小・中学校でありたいものです。今後も持続可能な学校づくり・地域づくりに教職員・児童生徒・保護者・地域の方々が協働して取り組んでいけたらと思います。

第64回石川地区大運動会が行われました



7月28日(日)、猛暑の合間の爽やかな風の吹く日に、石川地区の老若男女が集い地区運動会が行われました。児童生徒も約70～80名、高校生も十数名参加し地域のイベントを盛り上げ、地域貢献しました。パン食い競走、宅配便リレー、ゴリラの軍団などの種目が行われ親睦が深まった1日となりました。



小学校の小連体選手と中学校陸上部が合同練習

毎年恒例になった小連体選手と中学校陸上部との合同練習が、中学校の陸上トラックで7月23日(火)～26(金)の4日間行われました。中学生の走る姿を見て小学生もよい刺激を受けていたようです。小連体、中体連での活躍を期待しましょう。

